

令和5年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 東郷 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語、数学、英語）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学、英語）

教科に関する調査（国語、数学、英語）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※本校3年生は、単学級ですので、個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

3. 教科に関する調査結果の概要

- (1) 全国・本市の学力調査（国語、数学、英語）の結果

本年度の結果	国語		数学		英語	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	10.3	69	7.3	49	6.8	40
全国	10.5	70	7.6	51	7.7	45

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	メモを利用して説明された文を理解し、目的や場面に応じて質問する内容を検討する力は申し分ない。しかし、文章に共通する表現の効果や読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら自分の考えなどを表現することを苦手としている生徒が多い。
	よくできた問題	文章を比較して、説明したのから選択する問題
	努力が必要な問題	情報の理解と、自分の考えなどを伝える記述式の問題
数学	全体的な傾向や特徴など	問題場面における考察の対象を明確にとらえる力は、身に着けることができている。問題解決の過程や結果を振り返り、自分の考えを説明することを苦手としている生徒が多い。
	よくできた問題	考察の対象を明確にとらえる問題
	努力が必要な問題	ある事象が成り立つことやデータを分析したことを説明する問題
英語	全体的な傾向や特徴など	英文を読み、その内容について理解を深める力は十分に備わっている生徒が多い。その反面、自分の意見や考えなどを説明することは苦手としている生徒が多い。「話すこと」については、理解できている生徒は多いが、表現することを苦手とする生徒が少なくない。
	よくできた問題	英文を読んで、分の関係性を選択する問題
	努力が必要な問題	自分の考えを整理し、文章を書く問題

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ○「家で自分で計画を立てて勉強する」生徒の割合が少ない。 ○「学校の授業時間以外（月曜から金曜）に、1日あたり1時間以上勉強をしている」生徒の割合が少ない。 ○「今住んでいる地域の行事に参加している」「人が困っているときは、進んで助ける」生徒の割合は、非常に高い。 ○「自分には良いところがある」の質問に対して肯定的な回答をした生徒が若干少ない傾向にあるが、低い割合ではない。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本の定着を大切にし、個別の指導を充実させる。また、ICTを利用した学習も積極的に取り入れ、ドリルアプリ等を利用し学力の向上を図る。 ○「めあて」「まとめ」を簡潔に自分の言葉で書き、授業の終わりには「振り返り」を確実にを行うことを習慣づける。

② 家庭生活習慣等に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> ○東郷ノートの活用の仕方を工夫し、生徒が自学自習の習慣が身につくように指導を行う。 ○週末課題を設定し、確実に提出させる。また、課題の内容を充実させることで、基礎・基本の徹底につなげる。 ○考査前、生徒作成の予想問題だけでなく、教師作成の試験対策プリントを充実させ、自主的な学習の質を高める。
--